

# 陸上自衛隊ヘリコプター官製談合疑惑の真相公表を求め 川崎重工工業・本社に(10月12日) 日本共産党川崎重工委員会が申し入れ

川崎重工工業株式会社  
代表取締役社長 長谷川 聡 様

日本共産党  
委員長

陸上自衛隊ヘリコプター官製談合疑惑について  
ただちに真相の公表を求める申し入れ

今回の官製談合疑惑に  
経営陣はどう関わったのか？

川崎重工工業株式会社(以下、川重)は、今年3月に受注した陸上自衛隊ヘリコプター開発をめぐり、官製談合防止法違反などの容疑で、9月4日に東京地検特捜部から防衛省とともに家宅捜索を受けました。その内容は、受注争いで競合する富士重工業を排除して川重に有利に受注できるように、防衛省幹部と川重担当者が秘密会合を開いたという議事録の存在によって明らかになっています。

この会合のやりとりをまとめた川重の議事録には、三菱重工社員も参加した記述があり、三菱重工広報は早い段階で、その役職・名前の社員が現在も在職していることを認めています。また、防衛省もすでに川重に不正に受注させたとして官製談合防止法違反容疑で、防衛省側担当者数名を東京地検特捜部に刑事告発しました。こうして、談合の事実関係が鮮明になってきています。

川重は、2006年に「ごみ焼却施設」談合、「トンネル換気施設」談合、「橋梁」談合、2007年には「水門設備」談合を起しています。ごみ焼却施設談合では、51億6500万円もの莫大な課徴金を支払っています。従業員や関連・下請・非正規の労働者の汗水流した結晶が課徴金に消えました。数々の談合が会社の社会的信用を大きく失墜させ、まじめに、懸命に働いている従業員を落胆させ、肩身の狭い思いにさせています。

川重は、自社の『コンプライアンスガイドブック』で「企業が法令に違反する行為を行った場合、…最悪の場合、企業の存続が困難になる事象に陥るおそれがある」と述べています。談合は、税金を盗みとりする卑劣な犯罪行為であり、コンプライアンスを放棄する重大な行為です。会社に莫大な損害を与えたにもかかわらず、経営陣の誰一人として責任をとっていません。このような経営体質が、談合犯罪をくり返す大きな要因と言えます。

川重は、ヘリ官製談合疑惑で特捜部の捜索を受けてすでに1ヶ月を経過しましたが、本事件に関し何らコメントも発表していません。沈黙は許されません。これは、社会と国民そして従業員に對してあまりにも不誠実な態度です。

- 談合をくり返す経営体質を一掃するためにも、以下の点について企業内外に向けてただちに明らかにするよう強く申し入れます。
1. 今回の官製談合疑惑に経営陣はどう関わったのか、関与の有無と真相
  2. コンプライアンスガイドブックに犯罪行為と記述しておきながら、なぜ談合をくり返してきたのか
  3. これまでの談合事件に対して経営陣はどのような責任をとるつもりか
  4. 談合の再発防止策についてどのように考えているのか

なぜ談合を  
くり返すのか？

日本共産党  
川崎重工委員会

はぐるま 2012年10月号外 (NO. 2)

困ったときはお気軽にご相談ください  
TEL : 341-3235 FAX : 341-3236  
Eメール : spum69u9@pony.ocn.ne.jp

数々の談合事件に経営陣は  
どのような責任をとるつもりか？

「しんぶん赤旗」から転載  
9月14日号(右)  
9月15日号(下)

# へり談合 問われる防衛省関与

# 競合社内部資料

# 川重が事前入手

防衛省発注のヘリコプターをめぐる官製談合事件で、川崎重工（川重）が本来入手できない競合相手の富士重工の内部文書をひそかに入手していたことが13日、本紙が入手した川重の内部文書などでわかりました。川重が入手した富士重側の資料は、新型ヘリ「開発案」「経費計画」など。不正な情報入手によって、川重が受注工作を有利に進めたとみられます。

川崎重工が持っている「UHX」関連の情報

官製談合の疑いが浮上しているのは、人や物資輸送に使用される陸上自衛隊の多用途ヘリコプター「UHX」の開発事業です。

企業競争入札となった同事業には、川重と富士重が応募。両社は昨年11月15日まで技術提案書を提出しました。防衛省は、両社の

内部資料を入手して、また別の川重作成の文書では、「H23・

5・16 営業より入手」として、「FHI調査書の新規開発案」と題したパンコンデー

が添付されています。いずれの文書も富士重が防衛省に昨年11月に提出した「UHX」の技術提案書の基となる重要データが含まれていたとみられます。

【厳重取扱注意】F社調査書

作成者: [不明]  
作成日: [不明]  
更新日: [不明]  
指示板種別: [不明]  
カテゴリ: 提案準備

◆2011.03.28揭示

F社の調査書を営業より入手。

厳重取扱注意

取り扱い厳重注意の資料です。絶対外部に出ないように！

F社調査書(改造開発機)【関係者限】.pdf

【厳重注意】F社調査書抜粋(経費計画).pdf

血闘 川重と富士重の68人  
09～11年の12年  
「密告の密告」

今回の問題で、富士重の広報担当者は「事件については当社もわからないことが多い」と調査している段階と回答。川重は「何もコメントできない」としています。